



# 地場産業の 景気 天気図



晴れ



晴れ一部曇り



曇り



曇り一部雨



雨

好調

不調

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
海面養殖	 ▶ 	4月のマダイの浜値は930円/kg前後と前月比で横ばい。物価高と消費者の節約志向で消費動向に弱さはあるものの、飼料値上げなど生産コストの上昇を受けて当面は現在の相場水準が続く見通し。ハマチの浜値は、1,200円/kg前後と前月比20円の値上がり。全国的に在池尾数が少なく、単価は上昇傾向にある。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
水産加工品	 ▶ 	削り節の原材料であるカツオのバンコク相場(国際相場)は、1トンあたり前月比50ドル値上がりの1,700ドル前後で推移。中西部太平洋での漁不振と夏の集魚装置による禁漁期間を前に在庫を確保したい思惑から、上昇相場となった。一方、国内相場は230円/kg前後と前月比で横ばい。季節商材として一定の需要はあり、高値圏を維持した。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
タオル	 ▶ 	4月のタオルの生産状況を表す今治地区の綿糸受渡数量は2,894梱で、前年同月比4.2%減となった。4月の綿糸価格は主力の20番手が121,500円/梱で横ばいで推移している。タオルの輸出入状況を見ると、輸出量は全体で前年比約1割減で、特に中国や香港向けなどが大幅に減少している。輸入量は全体で前年並、国別ではベトナムやインドネシアからの輸入が増加している。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況	
製紙	印刷・情報用紙 新聞用紙	 ▶ 	印刷・情報用紙の3月の国内出荷は、前年同月比2.6%減で5ヵ月連続のマイナス。出版用や広告用などの需要低迷が続く。新聞用紙は、前年同月比8.1%減で46ヵ月連続の減少。デジタル化にともなう需要の低迷が続く。
	衛生用紙	 ▶ 	3月の国内出荷は、前年同月比1.3%減で2ヵ月連続のマイナスとなった。商業施設向けが好調だったタオル用紙が同9.1%増となった一方、ティッシュは同3.7%減と4ヵ月ぶりに、トイレ紙は同2.5%減と2ヵ月連続でマイナスとなった。昨年は値上げ前の駆け込み需要があったことが影響している。
	紙加工など	 ▶ 	包装用紙の3月の国内出荷は、前年同月比3.2%増で2ヵ月ぶりのプラスとなった。段ボールからの切り替えが需要を押し上げたと思われる。その影響からか、段ボール原紙の国内出荷は前年同月比0.3%減と2ヵ月連続のマイナスとなった。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
一般機械 金属製品 鉄鋼	 ▶ 	建設機械の3月の出荷額は、前年同月比3.8%減で2ヵ月ぶりのマイナスとなった。国内向けは、建設用クレーンの需要が旺盛だったものの、油圧ショベルやトラクタが不調で同9.9%減と8ヵ月連続で減少。輸出も、北米・欧州向けが落ち込み前年同月比0.5%減となった。現段階でのトランプ関税の影響は大きくなさそうだが、今後の動向には注意を要する。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況	
造船	外航	 ▶ 	手持ち工事は3～4年分を有している。日本船舶輸出組合によると、4月の輸出船契約実績は19隻・62万7千総トンで、トン数ベースで前年同月比31.6%減だった。船種別の隻数はバラ積船が18隻、油送船が1隻だった。S&P Globalの速報値では、1～3月の世界の新造船受注量は1,025隻・3,445万総トンで、トン数ベースで前年同期比32%増だった。日本は344万総トン(同19%増)となった。
	内航	 ▶ 	手持ち工事は1年程度を有している。人手不足や資機材価格高騰が続く中、造船所によっては、数年先までの受注を抱えている先もみられる。なお、国土交通省造船統計速報によると、3月の鋼船建造実績(国内船)は、受注は貨物船が3隻、漁船が1隻、起工は貨物船が2隻、油送船が2隻だった。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況	
海運	外航	 ▶ 	BDI(バルチック海運指数)は、一進一退。4月下旬に1,200台まで低下した後、5月7日時点で1,406まで回復した。豪州やブラジル出しの鉄鉱石輸送需要が増加し、ケーブサイズの輸送量は堅調に推移している。米国通商代表部(USTR)が打ち出した中国関係船に対する入港料措置について、自動車運搬船が日本や韓国で建造された船も対象になったことから、国内船社・荷主などへの影響が懸念される。
	内航	 ▶ 	日本内航海運組合総連合会によると、3月の輸送量は、貨物船は前年同月比1.6%増、油送船は同2.7%増だった。年度末の輸送需要で紙・パルプが大幅に増加したほか、自動車が前年の認証不正問題による影響の反動増となった。油送船は、製油所間の転送需要で輸送距離の長期化が船腹不足につながっているほか、高圧液化(LPG、塩ビモノマー等)や耐腐食(硫酸、苛性ソーダ等)などが伸びた。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
建設	 ▶ 	4月の県内の公共工事請負金額は、前年同月比23.2%増の163億円であった。「市町」が前年を下回ったものの、「国」や「独立行政法人等」、「県」は前年を上回った。3月の住宅着工戸数は前年を68.2%上回る619戸となった。利用関係別では「分譲住宅」では前年を下回ったものの、「持家」や「貸家」、「給与住宅」では前年を上回った。

業種	現状 ▶ 3ヵ月先の見通し	最近の状況
観光	 ▶ 	3月の道後温泉旅館宿泊客数は、前年同月比2.8%増の83,775人となった。また、3月の県内主要観光施設入込み客数は、東予(同1.3%増)、中予(同12.5%増)、南予(同4.5%増)すべてが前年を上回り、全体では同7.4%増となった。